

オープン委員会
委員会活動報告会 資料

平成29年度 委員会活動報告

平成30年2月1日
子どもの生活委員会

I 子どもの生活委員会の概要

委員会テーマ …… ～子供の貧困問題と対策について～

活動概要

背景

- 子ども達は小学校の6年間、中学校の3年間は義務教育として教育を受けますが、親の事情、家庭の事情で状況が違ってきます。
- 昨今マスコミ等で家庭の貧困問題がクローズアップされていますが、プライバシーの問題があり、なかなか表沙汰にはされにくい状況があります。

実施内容

- 貧困問題の現状把握を行いながら問題点の解決に向けて取り組んで行きましょう！

Ⅱ 委員会の仲間たち①

活動スローガン…小さなことからコツコツと！



Ⅱ 委員会の仲間たち②

36名の皆様と共に1年間活動してきました。

委員の皆様					
松島中	可児 美津子	四賀小	中嶋 一	田川小	瀧澤 祐美子
旭町中	宮本 美衣子	芝沢小	野口 良治	田川小	橋本 明子
岡田小	和久井 悟	芝沢小	長岡 真理	奈川小中	奥原 健児
会田中	竹川 洋子	女鳥羽中	藤岡 玲子	波田小	小林 あゆみ
開智小	小松 敦子	松島中	柏原 禎磨	附属小	浅田 孝
開明小	中畠 利佳	信明中	松岡 大	附属中	樋口 純恵
鎌田小	後藤 淳	菅野小	下平 みのり	並柳小	小田 貴幸
丸ノ内中	早川 匡史	菅野中	下釜 美乃	本郷小	浅井 信博
丸ノ内中	大澤 小百合	清水小	福知 路子	明善中	丸山 千春
高綱中	山下 卓晃	大野川小中	神田 貴祥		
今井小	川口 恵美	筑摩野中	大和 久也		

役職	委員長	副委員長	副委員長	助言者	助言者
名前	小林 仁志 (市P連幹事)	勝野 智行 (松島中)	羽二生 久夫 (旭町中)	田澤 稔 (松島中)	中林 勝彦 (旭町中)

Ⅲ年間活動概要

第1回	5/23	活動目的 メンバー 紹介	委員会の活動目的と各委員メンバー紹介
第2回	6/13	講演会 グループ 討 議	子どもの貧困問題についての講演会及びグループ討議 講師： 長野県中信教育事務所 生涯学習科 松井秀文指導主事 テーマ： 貧困問題から子ども人権を考える。大人達はこの問題についてどう対処すれば良いのか？
第3回	7/21	懇親会	情報交換で、大いに盛り上がりました。
第4回	9/12	講演会 グループ 討 議	子どもの貧困問題についての講演会及びグループ討議 講師： 松本市役所 山本修平氏 テーマ： 子どもの貧困の実態とその対応について
第5回	10/17	講演会 グループ 討 議	子どもの貧困問題についての講演会及びグループ討議 講師： 松島中PTA会長 勝野智行氏 テーマ： 松本市における貧困問題と取り組みについて
第6回	12/5	講演会 グループ 討 議	子どもの貧困問題についての講演会及びグループ討議 講師： 旭町中学校 中林校長先生 松島中学校 田澤校長先生 テーマ： 中学校における貧困問題と現状について
第7回	2/1 (木)	活 動 報告会	4委員会の1年間の活動報告
第8回	2月 日付未 定	慰労会	慰労を兼ねた懇親会 情報交換で、大いに盛り上がりましょう！

IV 委員会の活動で良かった点

- ① 毎回 講演会を実施し、視点を変えて、お話を聞くことが出来ました。(全4回)

長野県中信教育事務所、松本市、PTA会長、校長先生 と様々な方から様々な視点でお話をお伺いすることが出来ました。

⇒ 貧困問題を様々な角度から理解することができました。



- ② 講演会の後に必ず、グループディスカッションを実施しました。

講演会の後にグループディスカッションを行うことにより内容を整理することが出来ました。

⇒ 出席した委員の皆様も理解を深めることが出来ました。

- ③ 講演会講師を行政関係とPTA会長、校長先生に依頼することにより、講演料を負担することなく、実施することが出来ました。

PTAの運営経費を抑えることは、市P・単Pを問わず、大切なことです。



V 講演会及びグループ討議①

日 付： 平成29年6月13日

講 師： 長野県中信教育事務所 生涯学習科 松井秀文指導主事

テーマ： 貧困問題から子ども人権を考える。
大人達はこの問題についてどう対処すれば良いのか？

グループ討議：今日の講演会を聴いてあなたはどう思いましたか？

- 金銭的な問題ばかりではなく、子ども達の心の中にまで踏み込まなければならない課題であることが分かりました。
- 地域の活動を通して子ども達とのコミュニケーションをとり子ども達の為の時間を作り、子どもの未来に繋がる活動が出来れば良いと思いました。
- 貧困問題は経済的な問題だけではなく、親と子どもがきちんとした生活を営んでいるのか？
- 親子の会話が出来ているのか？ とても幅広い問題である事が分かりました。
- PTAとしては貧困問題についてどのように活動をすれば良いのか考えさせられる講演でした。
- 今回のテーマで自分でも協力出来る事が分かり、嬉しかったです。
- まずは地域と学校の行事に参加して、この問題に対して一緒に活動出来る仲間を作りたいと思いません。親が経済的に困っている場合、まず最初にどこに相談すれば良いのか、どのように相談すれば良いのか教えて下さい。
- 子ども達は普段の行動の中で大人達にSOSを発信している事が分かりました。
- 大人として、親として子どものSOSを受け止める事が出来るようにしたいと思います。
- 使わなくなった学校用品を無料で希望者に受け渡す事ができるシステムが構築できれば良いと思いました。

V 講演会及びグループ討議②

日 付： 平成29年9月12日

講 師： 松本市役所 山本修平氏

テーマ： 子どもの貧困の実態とその対応について

内 容

- 子どもの貧困問題は新聞などのマスメディアにもよく取り上げられる問題である。
- 貧困問題と虐待問題とは切り離すことは出来ない。→ 子どもに対する虐待・夫婦間の暴力問題。
- 子どもの貧困が話題となった時期から～法律が成立した時期について。
- 絶対的貧困と相対的貧困についてのお話。
- 日本は再配分されているが、まだまだ不十分。ひとり親家庭の貧困率が高いのが日本の現状。
- 子どもの進路に対する親の希望についてのお話。
- お金があるから必ず子どもは幸せとは限らないのではないか？
- 松本市では子どもの権利に関する条例を施行している。

最後に

松本市の現状や、長野県のひとり親家庭の実態調査のお話など身近にいてもわかりづらいことのお話が聞けて良かったです。また松本市では子どもの権利に関する条例を施行しており、子ども食堂など具体的な取り組みも定期的になされていることが分かりました。
しかし、それが実際に子どものいじめに繋がった例もあるので難しい問題だと感じました。
そして、地域の人たちと子どもたちとの関わりも増えてきていろいろな取り組みがなされている。

V 講演会及びグループ討議③ー1

日 付： 平成29年10月17日

講 師： 松島中PTA会長 勝野智行氏

テーマ： 松本市における貧困問題と取り組みについて

内 容

- 義務教育段階の就学援助について。→対象者は生活保護を受けている人、要保護者に準ずる程度に困窮していると認められる人。
- 来年度から新入学児童・生徒の学用品単価が値上がりします。小学校入学後(4月以降)でないと、「新入学児童生徒学用品費等」を受け取れず、家計の負担が大きくなる時期(ランドセルなど入学に必要なものを購入する時期)に必要な支援が行き届いていません。
- しかし現在でも一部の市町村では独自の取り組みとして小学校の入学前支給を行っているが、国の補助は受けられていない。
- 生活保護の家庭数は減少している。→少子化の影響か？
- 松本市の小中学校の生活保護を受けている家庭状況の資料の説明。
- これを踏まえて国は貧困問題について何に取り組んでいるか。→給付型奨学金制度の創設。
- 国の新しい制度として大学及び、短期大学への進学者を対象とし平成29年度からスタート。
- 長野県の取り組み。→平成29年度までに達成すべき目標として5項目の説明(生活保護世帯の児童の高校進学率向上。児童養護施設入所児童の高校及び、大学進学率の向上。
- ボランティアによる学習支援実施個所数の増加。母子家庭など就業・自律支援センター登録者の就業率向上。)

V 講演会及びグループ討議③ー2

内容

- 松本市の取り組み。→松本市子どもの権利に関する条例に基づいて取り組みをおこなっています。
- 不登校、経済的困窮、学習力の遅れに対してスクールソーシャルワーカー等による支援。学習環境の確保に向けた経済支援及び、学習サポート。
- 返済不要の奨学金制度の説明。
- 貧困問題についての問題点。→周囲に相談できる人がいない。教えてくれる人もいない。
- 貧困について調べないと分からない。調べる機会もない。PTAとして出来ることは何かと言う事を考えさせられる。

松本市への意見・要望

- PTAという立場は同じ親なのでこの問題については扱いが非常に難しいと思います。
- 市から各学校に対してこの問題についてのお話が聞くことが出来る機会があれば良いと思います。
(来入見・新入生入学説明会などで)
- 松本市子ども福祉課の担当者から学校・保護者に講演会をお願いしたい。
- 行政から受けることが出来る経済的な援助についての周知徹底をお願いしたい。



V 講演会及びグループ討議④ー1

日 付： 平成29年12月5日

講 師： 講師：旭町中学校 中林校長先生 松島中学校 田澤校長先生

テーマ： 中学校における貧困問題と現状について

内 容

- 学校の校長先生は生徒の各家庭についての状況把握は出来ていない。
- 今までは「貧困＝学力低下」と結び付けられていたが、現状は全てそう言う訳ではない。
- 昔は各地区の民生委員の方が地域の実状を把握していましたが、今は昔と違い関わりが少ない為、知らない事が多い。
- 経済的に苦しい家庭は就学援助と生活保護を受けています。場合によっては校長先生が申請書を作成して提出しているケースがあります。また、離婚すると就学援助が受けられる為そうする人たちもいます。
- 中学校に通う生徒の中でお風呂に入っていない、服装が汚れている子どもを見かける事があります。
- この実態を把握する為に直接生徒達と話をするようにしています。
- 松島中学校は10年位前は非常に生徒達が荒れていた。
- 毎週水曜日にボランティア活動を行っています。清掃作業をする時は子供たちが自主的に参加しています。
- 中学校でも給食費の未納が10数家庭ありますが、懇談会の時に期間を決めて振込みをするようお願いしています。それでも振込みがない場合は、児童手当を口座に振込んでもらうよう依頼しています。
- 卒業していく家庭にお願いをして使用済みの制服を再利用するように工夫しています。

V 講演会及びグループ討議④ー2

内容

- 県や市から支給される公費で出来るだけ学校運営を行っていくことで、保護者に負担がかかる学年費をうかす事が出来るようにしています。
- 「不登校＝貧困」と同一問題で位置付けをすることは一概に出来ませんが、関係している部分は見られます。例えば、母子家庭で母親が働いていると子どもが不安定になるケースが多く見られます。

松本市への意見・要望

- 一年間この問題について取り組んで参りましたが、個人情報保護の観点などから踏まえますとなかなか表に出すことが出来ない状況であり、問題であります。まずは松本市から各学校、各家庭に対しての就学援助などの支援方法や取り組みを周知徹底して頂くようお願い致します。
- 貧困問題に悩む家庭が気兼ねなく援助を求める事が出来るように対応してもらいようお願い致します。



VI 委員長より

保護者の皆様へ・・・

- こどもの貧困問題とは経済的な部分だけではなく、子供達の心の叫びでもあります。
- まずは親として子供達に向き合ってください。そして、こどもたちの話を聞いてください。
- こどもたちはこれからの社会を担っていく貴重な人財です。
- PTAとは親と学校の先生が協力しながら活動をしていく組織です。
- 地域との協力・連携なくして解決することは難しい問題です。
- まずは自分が住んでいる地域に飛び込んでください。

松本市へ・・・

- 一年間この問題について取り組んで参りましたが、個人情報保護の観点などから踏まえますとなかなか表に出すことが出来ない状況であり、問題であります。まずは松本市から各学校、各家庭に対しての就学援助などの支援方法や取り組みを周知徹底して頂くようお願い致します。
- 貧困問題に悩む家庭が気兼ねなく援助を求める事が出来るように対応してもらおうようお願い致します。

VII最後に

ご清聴頂き、ありがとうございました。

本資料に関する詳細お問合せ先:

松本市PTA連合会 子どもの生活委員会 委員長: 小林仁志 宛

子どもの生活委員会の方は、電話番号やメールを交換しておりますので、直接お問い合わせください。

その他の方は、松本市PTA連合会事務局(0263-33-1373)を通じてお願い致します。

以上が、一年間かけて、36名の仲間と共にまとめさせて頂いた活動報告です。
助言者の校長先生、副委員長の皆様、委員会幹事の皆様、そして委員の皆様へ感謝申し上げますとともに、この報告内容が今後の各校PTA活動の参考になることを願い、私からの報告とさせていただきます。

平成30年2月1日 小林 仁志